

FELIX FINKBEINER

Founder of Plant-for-the-Planet Foundation that has already planted nearly 14 billion trees.

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Environment
- Society

9歳の時、Wangari Maathaiの物語に触発されたFelix Finkbeinerは、子供たちがあらゆる国に100万本の木を植えることによって気候正義を促進できるという考えを発展させました。100を超える国々からの子供たちの支援を得て、フェリックスは2007年に子供と若者のイニシアチブPlant-for-the-Planetを立ち上げました。

フェリックスと彼のチームは、子供たちが気候正義のための大使として優れ、持続可能性の必要性についての意識を高めるために力を与えるために必要なツールと知識を学ぶアカデミー（1日のワークショップ）を開催します。Plant-for-the-Planetはこれまでに55,000人以上のClimate Justice Ambassadorsを任命し、その数を100万人に増やすことを目指しています。Plant-for-the-Planetの子供たちの努力のおかげで、植えられた木の数は1兆個に達すると予測されています（一人当たり150本の木）。

2年間の熱心な審議の後、Felixと他のPlant-for-the-Planetの子供たちは、現在および将来の世代の未来を救うための3点計画を完成させました。計画の全体的なメッセージは次のとおりです。植え始めます」。子供たちは世界的な「話すのをやめる」を使っています。気候正義のための闘争で、国家元首、ビジネスマン、そして他の一般市民の支持を得るために、キャンペーン、3点計画、誓約され植えられた木に関するデータを植え始めましょう。

2011年12月に、UNEPはBillion Treeキャンペーンの責任をPlant-for-the Planetの子供たちに引き渡しました。今、子供たちは公式の世界的な木のカウンターを担当しています。